

東奔西走した

二天ヒーロー

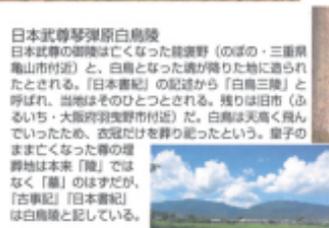
終焉の地へ



MaplePark Project 2017-2020
なら紀紀・万葉

搬上罫子塚古墳
 国列山の石段谷間に造られた前方後円墳。5世紀後半築造、全長150mとある。南葛城地域では室宮山古墳に次ぐ大きさで、江戸時代の書物『山陵志』では五朝に仕えた伝説的経臣、武内宿禰の墓ではないかと考えられている。一方、『聖蹟図志』ではこの地は日本武尊とされ、また孝安天皇陵説もある。発掘時には山に白雉がたつとも、また雉の音が聞こえるともい、不思議な話も語り継ぐ。古く道標を建てており、江戸時代の文獻には長持形石棺の存在が記されるが内部は未調査。出土したのは各種形象埴輪や埴形石製品などであった。

日本武尊等弾原白鳥陵
 日本武尊の御陵はとくなくなった熊野野(のぼの・三重川庵山市付近)と、白鳥となった雉が降りた地に造られたとされる。『日本書紀』の記述から「白鳥三陵」と呼ばれ、当地はそのひとつとされる。雉りは旧市(ひるいち・大原野羽野野市付近)だ。白鳥は天高く飛んでいったため、衣冠だけを残ったという。皇子のままくなった尊の埋葬地は本来「陵」ではなく「墓」のほすだが、『古事記』『日本書紀』は白鳥陵と記している。



巨勢山古墳群
 巨勢山の丘陵に東西約3km、南北約2.5kmに800余基が存在する群集墳。5世紀中頃～7世紀中頃にかけ造られたもので、ほとんどが円墳である。分布状況から支那に分けられ、北支那に位置するこの集地支那には機業申家古墳、美治古墳、泉池南古墳の三古墳がある。2002年には、『御つる神(じょうろがみ)古墳』の調査結果が大きな話題になった。飛鳥の石槨台古墳に匹敵する巨大な横穴式石室。特異な家形石棺は大王墓に迫る力を誇った巨勢氏有力者の姿を想像させる。



室宮山古墳
 別名「室の大墓」と呼ばれる前方後円墳。被葬者は葛城氏の祖・葛城跡津彦(かつらぎのそつひこ)が有力推定されている。津彦は『古事記』に首領比古と記され、武内宿禰の子とある。『日本書紀』では神功皇后・応神朝にその名が見え、大隅との外交に奔走した。『日本書紀』に引用された『大隅』に「少室比羅(さちひろ)」の名が登場することから実在性が高いとされる。古墳には竪穴式石室が2基。盗掘により副葬品の多くは失われていたが、残された遺物からその豊饒さがうかがえた。



奈良県紀紀・万葉プロジェクトについては、本誌P186～P191もあわせてご覧下さい。奈良県観光局ならぬ魅力創造課 〒630-8501 奈良県登大原町30番地 Tel.0742-27-8975



室宮山古墳周辺ルート
 約4.5km

JR 搬上駅
 ↓約0.8km (徒歩約16分)
 搬上罫子塚古墳
 ↓約1.1km (徒歩約22分)
 日本武尊等弾原白鳥陵
 ↓約0.5km (徒歩約18分)
 巨勢山古墳群
 ↓約1km (徒歩約20分)
 室宮山古墳
 ↓約0.7km (徒歩約14分)
 高戸橋バス停
 ↓約2.3km (バス約6分)
 近鉄 飯所駅

室宮山古墳

巨勢山古墳群

日本武尊等弾原白鳥陵

全国に記紀・万葉ネットワークを



全国の古事記ゆかりの地を紹介

奈良県では、平成二十四年（二〇二二）の「古事記」編纂一三〇〇年から、平成三十二年（二〇二〇）の「日本書紀」編纂一三〇〇年の記念の年までの、ふたつの節目の年をつなぐ九年間、「記紀・万葉プロジェクト」を展開している。「古事記」「日本書紀」が編纂され、数多くの万葉歌が詠まれた地・奈良県では、記紀・万葉集をはじめ、そのほか連綿と受けつがれてきた様々な文獻、地域の伝承なども含む豊かな歴史素材を活用しながら、多面的に活動が進められている。

多種多様なイベントの開催や関連史跡巡りのルートの播唱、「古事記」

の魅力をわかりやすく伝える出版物の顕彰など、活動内容はさまざまだがなかでも特筆すべきは、この「記紀・万葉プロジェクト」を奈良県だけのものにとどめず、ゆかりの地、伝承の伝わる場所と可能な限り連携を取り、情報交換をし、足並みをそろえてこのプロジェクトを広げていこうとする試みである。具体的には、三重県、和歌山県、鳥取県、島根県、宮崎県、など神話の舞台として知られる県との連携である。

ゆかり地へ赴いてもらうこと、また全国各地の方々が、それぞれの住まう地域の魅力を再発見することにより、地域の歴史を大切にする気運を全国に広げていくことを目指している。

ハンディサイズのパンフレットだが、その中身は無料で配布されるとは思えない充実度。折りたたまれた「古事記ゆかり地マップ」を広げると、表は「古事記」の名場解説、そして裏面は全国のゆかりの地が地図に示され、場所と伝承が書き添えられている。神武天皇の東征もヤマトタケルの戦いの軌跡も、一目瞭然。地図を眺めながら、「古事記」旅行プランを立てると楽しそうだ。

詳細な「古事記」ゆかり地のマップ。東北から九州まで網羅している。地図の下には、地元の神社の解説が簡潔に記され大変便利。

「古事記」の名場面がイラストで解説されている。これさえ知れば「古事記」を読める。

古事記ゆかり地マップ



古事記ゆかり地マップ

奈良県



「古事記ゆかり地マップ」配布場所
奈良県ならの魅力創造課、奈良県ビジターズビューロー、奈良県内市町村観光担当課、奈良まほろば館（東京都中央区日本橋）など。

「なら記紀・万葉 名所図会」第二弾



旅をテーマにした「古事記」ガイド

「古事記」に登場する奈良県内の舞台を紹介したガイドブック「なら記紀・万葉 名所図会―古事記・旅編」が発行され、歴史通の間で話題になっている。「古事記」物語を恋愛や戦いなどに分類し、ゆかりの地六十三カ所を地図でわかりやすく案内したもので、迫力ある写真と解説で、見る人を「古事記」ワールドへと誘い込む。

平成二十四年(二〇一二年)一月、「古事記」編纂一三〇周年を記念して発行した古事記編の第二弾だ。第一弾は、古事記から家族愛など普遍的な物語を写真付きで紹介。当初二万部を発行したが、わずか二カ

月でほぼ払底する人気で、後に三万部を増刷している。

今回の「なら記紀・万葉 名所図会―古事記・旅編」は、A4判、二十二ページのリフレット。二万部を発行し、「恋愛・家族・戦い」二種をそれぞれ七つに物語を分類し、それぞれのエピソードとゆかりの地を写真付きで紹介している。

恋愛のページでは、仁徳天皇の皇后が有力豪族の葛城氏出身だったことにちなんで葛城山(御所市)などを紹介。葛城氏の皇后は嫉妬深く、ほかの妃が宮中に入ることを許さなかった逸話を紹介している。戦いのページでは、弟に殺されそうになった履中天皇が逃れた石上神宮(天理市)などを挙げた。



ワイドなページに写真と情報が満載。後半には詳細な地図もあり、旅行の際便利であるだけでなく、読んでみれば「古事記」の基礎知識も身につく便利な1冊。

歴史が息づく奈良を舞台に
いにしえ人の心に学ぶ

記紀・万葉関連冊子を入手されたい方へ

【郵送をご希望の場合】

封筒の宛先に希望する冊子の名称をご記入の上、切手を貼り付けた返信用封筒を奈良県ならの魅力創造課(〒630-8501 奈良市登大路町30番地)までご送付ください。なお、お一人様につき1部のみのお配布とさせていただきます。(切手は1冊分の送料です)

- ★「なら記紀・万葉 名所図会―古事記編―」(A4サイズが入る封筒に210円切手を貼付)
- ★「なら記紀・万葉 名所図会―古事記・旅編―」(A4サイズが入る封筒に180円切手を貼付)
- ★「古事記ゆかり地マップ」(A4サイズ3つ折りが入る長形3号の封筒に90円切手を貼付)



地図上にゆかりの地を表示しているほか、カーナビ用のマップコードも記載され、対応機種であれば、簡単に位置を特定できる。

現在、奈良県ならの魅力創造課や奈良県内各市町村観光担当課で配布。問い合わせは、ならの魅力創造課 TEL 0742-27-8975 平日。

イベントで楽しむ、記紀・万葉の世界



記紀・万葉リレートーク

奈良県内16の地域で、「記紀・万葉」を語りつないでいくリレートークを三月末まで実施中。古代と出合い、古人の心を想い、「記紀・万葉」を身近に感じてください。

① ヤマトの王の始まり物語―神武・崇神記を中心に―

講師 法政大学教授 坂本勝氏

日時 平成25年3月3日(日)

13時30分

開催場所 安堵町立会館トーク安堵
カルチャーセンター

奈良県生駒郡安堵町東安堵8

79

② 布留遺跡の調査成果から見た物語―

講師 天理大学附属天理参考館

学芸員 日野安氏

日時 平成25年3月9日(土)

9時30分～16時頃

開催場所 天理市文化センター
奈良県天理市守日堂町117

講演会終了後、12時30分から現地ウォーク(約5キロ)を実施。物部氏の氏神でもあり、古代の武器庫があった石上神宮の神職による現地説明があります。参加をご希望の場合は、昼食を各自ご準備ください。

③ 悲しくも恋しくも平群の鯨白鶴

④ ヤマトガラス伝説と吉野・宇陀

講師 関西大学教授 西本昌弘氏

日時 平成25年3月17日(日)

開催場所 東吉野村住民ホール

奈良県吉野郡東吉野村大字小川99

⑤ 日本神話とギリシャ神話

講師 作家 阿刀田高氏

千田稔館長公開講座

図書館劇場Ⅶ第6幕

講師 奈良県図書情報館館長

千田稔氏 他

日時 平成25年3月23日(土)

13時(入場12時)

開催場所 奈良県立図書情報館

奈良県奈良市大安寺西1丁目1000番地

概要 奈良をめぐる文芸作品と歴史書を通じて、改めて奈良の姿を浮き彫りにします。

料金 個人様500円

募集期間 先着300名になり次第、受付を締め切らせていただきます。

申込 ホームページ申込フォーム、メール、FAX、往復はがき、来館によりお申込みください。

お問い合わせ 奈良県立図書情報館(図書館劇場)担当

TEL 0742-34-2111

TEL 06-6348-0172

(平日/月/金 10時~17時)

②の現地ウォークのお問い合わせは天理市役所観光課(TEL 0743-63-1001(内線208))までお願いします。

お問い合わせ

FAX 06-6348-1375

EMAIL nankidainaryo@docom.ne.jp

梅田ダイビル4F

参加申込

参加無料です。お申し込みは、往復はがき、メール、FAXのいずれかに希望会場名、参加希望者名、郵便番号、住所、電話番号をご記入の上、下記事務局までお申し込みください。

「記紀・万葉リレートーク」事務局
〒530-0001
大阪市北区梅田3-3-10
梅田ダイビル4F

日時 平成25年3月20日(水・祝)

13時30分

開催場所 奈良県橿原文化会館

65・5

講師からのひと言

「高度の文明を享受しながら多神教をもつばらとする国は少ない。古代ギリシャと日本くらいのものである。古代ギリシャの英知を瞥見しながら日本神話との共通性をさぐり、あわせて民俗の淵源としての神話からなにを得たらよいか、想像と創造へ



石上神宮(奈良県天理市)